

中部学生ヨット連盟主催による大会開催に関するガイドライン

I. 基本方針

中部水域で大会を開催するにあたり、主催者は、『選手及び支援者を守る』『すべての大会関係者を守る』『開催する大会が感染クラスターになることを防ぐ』ことを念頭に、新型コロナウイルス感染症対策を考えていく。

ここに述べる感染症対策は、現段階で得られている知見や新型コロナウイルス感染症対策本部の方針に沿っており、今後のエビデンスの蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されることがある。また、他水域から選手が参加する大会においては、地域によって流行状況が異なり都道府県単位で方針が異なるので、全日本学生ヨット連盟との連携を図って、大会を開催・継続することを前提とする。

新型コロナウイルス感染症対策は、個人防衛、集団防衛、社会防衛の 3 つの見地から考える必要があり、何よりも重要なのは、大会に関わるすべての者が、症状の有無にかかわらず日ごろから感染予防に努め、「絶対に濃厚接触者にならない、作らない、会場に入れない」ことである。このような個人防衛に加え、選手・支援者・大会関係者が連携し、絶対にクラスターを発生させないことを方針とする。

II. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の基本情報

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の病原体	・ウイルスは自ら増殖することができず、体内でウイルスが増殖すると発症。 ・症状が出るおよそ 2 日前から他の人に感染する。 ・健康な皮膚には入り込むことができず付着するだけと言われている。 ・付着した状態で 3 日間程度は感染力をもつとされる。
感染経路	・飛沫感染: 咳・くしゃみ、会話による感染 ①人が多く集まる環境②近距離での会話③換気の悪い密閉空間といった条件が重なる状況では、特に感染するリスクが高くなる。 ・接触感染: 手で触れることによる感染 24 時間～72 時間くらい感染する力をもつと言われている。 ・潜伏期は、1～14 日間で、5 日程度で発症することが多い ・感染可能期間は、発症 2 日前から発症後 7～10 日間程度と考えられている。

III. 基本的感染症対策

個人防衛	・人との間隔は、できるだけ 2m(最低 1m)空ける。 ・会話をするときは、マスクを着用する。 ・石鹸による手洗い、消毒用アルコール剤による手指衛生を励行する。 ・外食など不特定多数との接触の機会は避ける。 ・車での移動時は換気する。 ・「3 密(密集・密接・密閉)」を回避する。 ・口、鼻、眼に不用意に触れない。 ・規則正しい生活とバランスの取れた食事をとる。
集団防衛	・選手、支援者、すべての大会関係者が規則を遵守する。 ・虚偽のない報告、自主隔離等で、感染拡大を防ぐ。 ・来場するすべての関係者の名簿を管理する。 ・発熱及び諸症状がある場合は、来場しない。 ・健康チェックシートを活用する。 ・発症したときのため、いつ、誰が活動したか分かる部活動記録を残す。
社会防衛	・開催地自治体での緊急事態措置、自粛要請及び諸対策を遵守する。 ・中部水域で活動する団体、全日本学生ヨット連盟と情報を共有する。

Ⅳ. 大会の開催判断基準

1. 政府及び自治体(中部水域)の見解
2. 大会開催地自治体(愛知県・蒲州市)の状況
3. 各大学の部活動状況及び動向
4. 安全・安心な大会を開催するための対策の可否

判断期限目安	大会 2 週間前（艇の搬入が必要な大学の事情を考慮）			
警戒レベル (愛知県)	ステージⅣ (緊急事態宣言)	ステージⅢ (まん延防止措置)	ステージⅡ	ステージⅠ
大会開催レベル	STAGE 4	STAGE 3	STAGE 2	STAGE 1
海陽ヨットハーバー	利用制限あり			
各大学の部活動制限	活動禁止・自粛		制限なし	
開催可否・制限	中止または延期	延期・規模縮小	制限なし	
日程		・半日の連続2日間 ・1日の隔週2日間 ・1日間	制限なし	
受付		オンライン		
開・閉会式		表彰のみ(オンライン)	オンライン	通常どおり
ブリーフィング		オンライン	制限なし	
レース数		大会日程縮減に応じたレース数の削減	制限なし	
大会関係者宿泊		不可	制限あり	制限なし
支援者艇		定員の 50%	定員の 80%	
運営艇		定員の 50%	定員の 80%	
運営人員		愛知県内派遣	制限なし	
その他留意事項				
・合宿禁止措置の対応のため、宿泊をしなくても開催できる日程を選択する。				
・活動禁止または自粛であっても、申請を出し許可が出ている場合は、制限なしとする。				
・部員に陽性者、濃厚接触者が発生した場合は、参加を辞退すること。同じく大会関係者の場合、来場してはならない。				
・大会2週間前から体調チェックを行い、部内で記録しておくこと。				
・大会実施にあたっては、中部学生ヨット連盟会長が実施方法を判断し加盟全校、学連役員同意のもと実施する。				